

令和8年10月15日

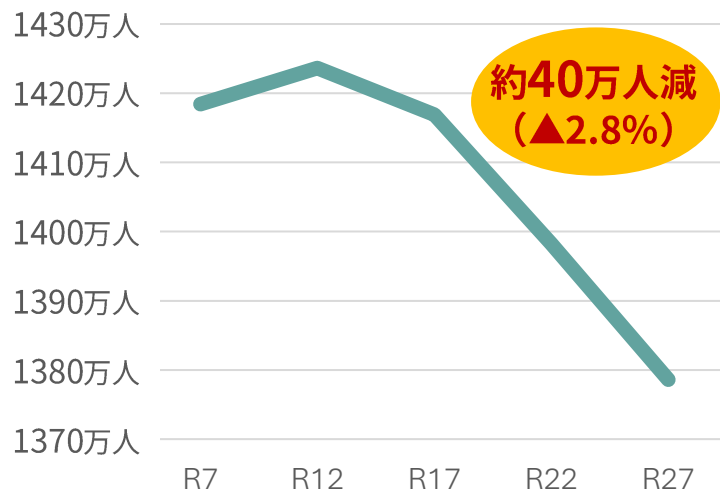
東京都総合教育会議

テーマ

「AI時代の未来と教育の在り方」

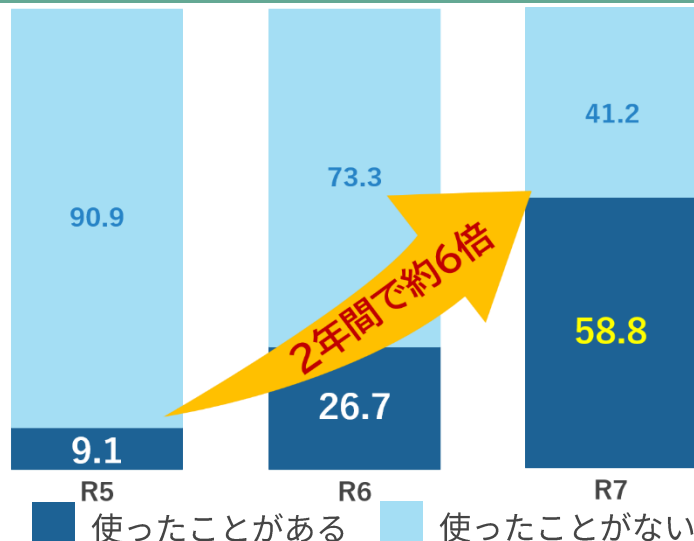
東京を取り巻く環境の変化

人口構造の変化



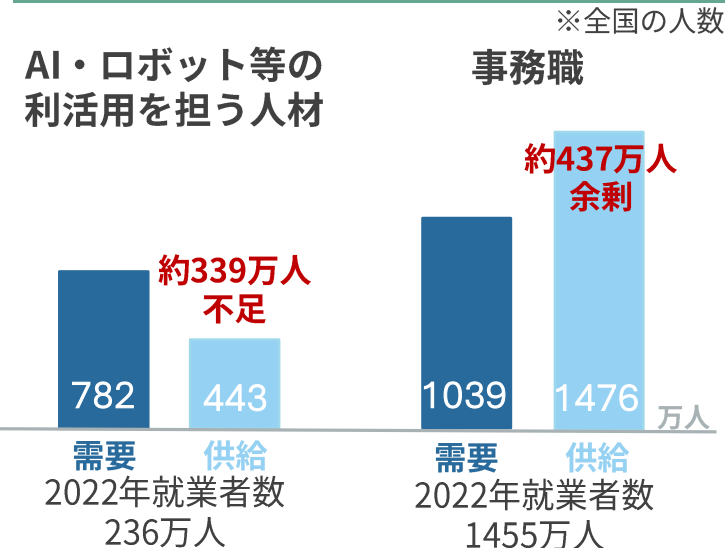
生産年齢人口の減少
高齢化の進行

生成AIの急速な普及



生成AIの利用経験者が
短期間で大幅に増加

社会・産業構造の変化



職種によって人材不足と余剰が生じ
求められる役割や技能が変化

人口構造、情報技術、社会・産業構造が大きく変革し、社会に求められる力や人材像も変化

生産性向上

AI・デジタル活用

変化への対応・価値創造

変化する社会を支える人材を育むため、学びの在り方をどう変えていくか

■ 求められる人材像の変化に応じた取組の視点

変化する社会に対応した「新たな教育のスタイル」

生成AIなどのデジタル技術を使いながら、
リアルの世界の学びを巧みに組み合わせる取組が不可欠

予測できない状況に柔軟に対応できる力を伸ばし、
世界で生き抜く人材を育成することが必要

「自立した学習者」を育成

デジタル の教育

- ◆ AIやデジタル教材による、きめ細かくレベルの高い知識の提供
- ◆ 学ぶ時間や場所を自分で選択することを実現するデジタルツールの活用



リアル の教育

- ◆ 生徒の興味関心に応じて、校外のリアルな場での探究活動
- ◆ 様々な現象や状況の実体験による教科横断的な知識の活用

デジタルの教育とリアルな教育の学習状況を把握し、各生徒が興味関心に応じて主体的に学ぶ姿勢を高める仕組みを展開

新たな学びを支える仕組み

「都立高校の魅力向上に関する懇談会」において、
今後の都立高校に求められる役割や学びの在り方について議論



都教育委員会の取組 都立高校の魅力向上等に係る懇談会

社会の変化と多様なニーズに応える都立高校へ

3つの視点から都立高校の在り方を検討

第1部会

グローバル化やデジタル化等に対応できる人材づくり

第2部会

多様な生徒を確実に支えるしくみづくり

第3部会

将来の東京を担う人材を生み出す都立高校づくり



令和8年12月『都立高校改革構想』中間まとめ

■ 都教育委員会の取組 都立高校の魅力向上等に係る懇談会

AI・デジタル時代に求められる人材とは

AI・デジタルを活用しながら**社会課題を解決し新たな価値を創造**する人材

高校段階で育む情報活用能力の基礎



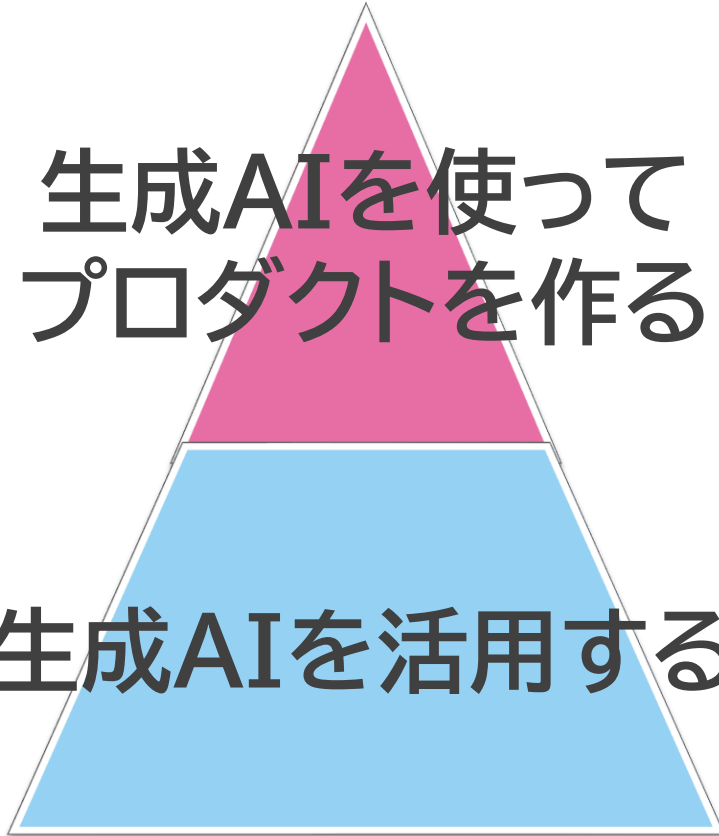
委員から示された主な視点

- AI等を使うこと自体を目的とせず、**課題解決**や**価値創造**につなげる力の育成
- 教科横断的な探究**や**課題解決型学習**を通じ、**実社会**の課題に取り組む学びを充実
- 大学・企業等と連携**し、専門家の助言の下、**高度で実践的な情報**の学びを深める環境を整備



都教育委員会の取組 AIを活用した教育の実践

- 都立学校では中高生が**生成A I**と対話しながら、**新しい視点や発想**を得るなど、**学習に活用**
- 今年度から、こうした取組をさらに一段引き上げ、**生成A I**を使って、**社会課題の解決に挑戦**



生成AIを使って
プロダクトを作る

生成AIを活用する

都立学校AI Lab

デザイン思考やデータサイエンス、生成AI等を活用し、社会課題の解決に挑戦
(令和8年度より)

都立AI

全都立学校に生成AI利用環境「都立AI」を整備し、学習に活用(令和7年度より)

都教育委員会の取組 AIを活用した教育の実践

「都立AI」

AIを活用し、児童・生徒に考えさせる授業づくり
AIリテラシー教育

都立AIが示した視点から考察を深める

生徒：なぜ大正時代に民主主義の考え方が広まったのですか？

AI：あなたはどのような社会変化があったと思いますか？

生徒：都市化、新聞の普及、政党政治の発展

AI：良い視点ですね。では、それぞれの変化は国民の政治参加にどのような影響を与えたでしょうか。第一次世界大戦後の国際情勢も関係しているかもしれません

歴史の授業

大正時代の社会変化や時代背景について、資料を根拠に考えを述べ、「都立AI」から示された視点をもとに考察を深めた

都立AIと意見交換し考えをまとめる



特別支援学校での授業

生徒は生成AIとのディベートを通じ自分の考えを述べることで、多様な視点や反論に触れ、一人では行き詰まりがちな思考を広げることができた

AIを活用する上での留意点

生成AIの「バイアス」って何？

データやアルゴリズム（処理方法）に偏りがあること。

生成AI学習データバイアス

- 性別役割分担意識にとらわれた画像を生成
- 採用や人事の場面で特定の経歴や経歴が

生成AIにも人間と同じ理解し、一歩引いた視

「ハルシネーション」って何？

生成AIが事実と異なる情報を生成する現象。学習データの偏りや、古いデータや誤ったデータを学習することにより起こる。

- 語った歴史や、不正確な科学情報を生成する。
- 質問の意図にそぐわない回答を生成する。

生成された情報をうのみにせず、自分で情報が正確かを判断しましょう。複数の資料に当たり事実を確認することも有効です。

550年です。（誤った情報）

生のため、資料も確認してみよう。

最古時代は何年から？

都立学校生成AI利活用ガイドライン

生成AIを適切かつ効果的に活用するための指針を策定

都教育委員会の取組 AIを活用した教育の実践

「都立学校AI Lab」

ユーザーの視点から課題を見つけて、
チームで議論しながらAIアプリを開発

【上級】 創る ハッカソンプログラム

- 高度なAIアプリ開発能力を育成
- メンター等が5か月伴走支援
- 令和8年度は40人を対象に実施

【中級】 試す ワークショップ

- 「AIアプリ開発」に関する知識を習得できるワークショップを開催
- 令和8年度は150人を対象に実施

【初級】 知る オンラインプログラム

- 「デザイン思考」、「AIアプリ開発」、「データサイエンス」を習得できるオンライン教材を配信



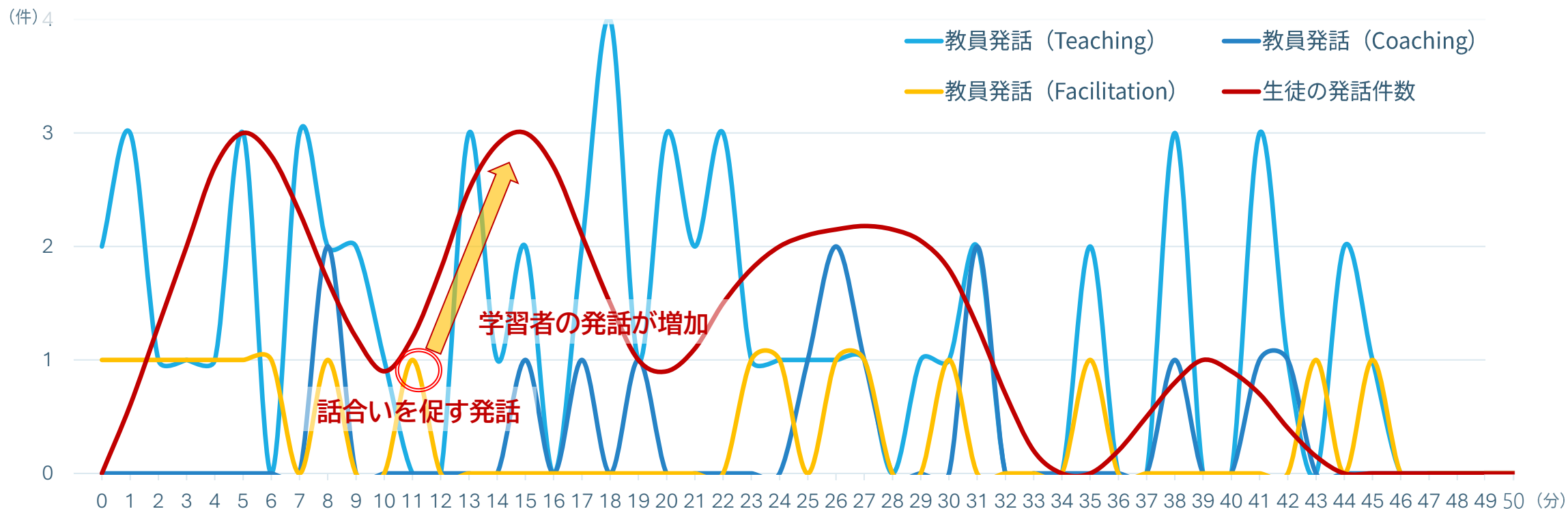


都教育委員会の取組 生成AIを活用した授業改善

教員研修

AIを活用して授業を振り返り、
生徒の主体的な学びを引き出す指導へ

○ 教員の発話と生徒の発話との関係性を、生成AIで分析





AIに関する様々な側面

AIは急速に普及する汎用的な技術であり、様々な影響も指摘
それらも踏まえて利活用を検討していくことが重要

(参考) 文部科学省 教育課程部会 情報・技術WG (第6回) 資料 (令和8年2月13日) より

- **学習過程の省略による学習効果低下**
- **記憶・理解の弱化**
- **主体性の低下**
- **自己評価の過大化**
- **AIを擬人化することによる感情的な依存**

■ AI時代の教育に関する国の考え方

AI・デジタルの可能性を生かしながら、人間ならではの力を育む

AI・デジタルを学びに生かす

- 大量の情報を効率的に整理・分析する
- 主体的・対話的で深い学びを支える
- 時間や場所を越えて、多様な他者と協働する



人間が主体となって問い、判断する

- 知識を基に、AIへの問いや指示を考える
- 情報の正誤や妥当性を見極める
- 責任を持って意思決定する



確かな知識と情報活用能力を基盤に、
自ら問い、判断し、他者と協働して新たな価値を創造

論点

情報社会を生きる次世代に求められる人材像

- 2040年の社会構造・産業構造を見据えた、東京の持続的発展を支える人材育成
- 変化の激しい社会において学び続けることができる人材の育成

これからの教育に求められるもの

- 社会課題の解決や新たな価値の創造につながる学び
- 都立高校における特色ある学びや魅力向上

AI時代における教育の課題

- AIの可能性とリスクに向き合いながら、学校教育にどのように取り入れていくか
- AI・デジタルの活用と、体験・協働などのリアルな学びをどう両立するか